



くまむら



広報



元気にあいさつ、元気に登校！！

村内各小学校の新1年生が、上級生と一緒に元気に登校し始めました。

真新しいランドセルを背負い、少し大きめの帽子をかぶりながら笑顔で元気にあいさつする新入生の姿は、春の陽気とともに、とてもさわやかな光景でした。

みんなで声を合わせて確認しながら道路を横断するなど、交通ルールをしっかりと守って登校していました。

今年は、一勝地小学校に14名、渡小学校に17名が入学しています。



2011

4

APRIL

『魅力あるむらづくり』を展開

二期八年間の実績を踏まえて、さらに前進を

はつめい

私は、平成14年9月村長に就任以来、現在3期目、9年目を迎えました。

この間多くの村民の皆様のご信託をいただき、球磨村の舵取り役を担ってまいりました。昨年9月、3期目の就任にあたり、2期8年間の実績をふまえ、継続して取り組む必要があるもの、内容を高めるもの等3期目の重点課題5項目を掲げております。



施政方針を述べる柳詒村長

第1に、村民の安心・安全のための球磨川の抜本的な治水対策、急傾斜対策の拡大であります。

第2に、地域づくりの根本であるコミュニティを深める活動であります。

第3に、山村活性化への取り組みであります。球磨村の豊かな地域資源を見直し、磨

きあげ、基幹産業の農業・林業を基軸とした観光産業を推進する。その基盤づくりとして、学校再編による小学校校舎の活用、柴立姫神社周辺を進めている川の駅『球磨川親水公園』の建設、『棚田まるごと博物館』事業への取り組みがあります。また、住宅建設など定住促進事業もあります。

第4に、光ファイバー網が全村に整備されましたので、インターネットを利用した行政サービスや福祉サービスの向上であります。

第5に、学校再編による学力の向上、子供たちの安心・安全な登下校を確保するスクールバス網の整備であります。また、村民の利便も考え、公共交通機関、福祉バスとの連携も検討することとしております。

このような重点的課題の解決と前進に努め、さらに地域の特性を活かした、魅力ある村づくりを展開する所存であります。

平成23年度の予算編成にあたっては、「球磨村総合計画」の基本理念であります『安心・安全で快適な暮らしの環境づくり』『豊かで活力に満ちた産業づくり』『やすらぎと思いやりの地域社会づくり』『明日

を拓く人づくり』をテーマとして、必要な事業や新たな行政需要に対し、重点的に配分する予算を編成いたしました。以下それぞれのテーマにより主要施策と予算の概要について申し上げます

道路関係予算に1億円 球磨川の治水対策も

はじめに、『安全で快適な暮らしの環境づくり』であります。

道路は、そこで暮らす人々の生活基盤であり、地域における産業振興に欠くことのできない社会資本であります。

平成21年度からは、地域活性化臨時交付金の活用により従来の事業量以上の道路の改良と維持管理事業を実施、道路の整備に努めて来たところであり、平成23年度は、

道路新設改良、維持、林道など道路関連予算として1億円余を見ております。

本村の中央部を貫流する球磨川、球磨村の誇る財産ではありますが、時として牙をむきます。これまで梅雨期・台風襲来期には、多くの支流に流れ込む濁流を加えながら氾濫し、沿岸の住家、道路、耕地等を災害の渦に巻き込んできました。昨年は大きな災害もなく平穏な1年でありましたが、油断は禁物です。抜本的な治水対策が必要であります。国土交通省において、球磨川河川改修や宅地等水防対策事業が積極的に進められており、一勝地宮園地区、池下地区、淋地区、神瀬地区の改修が平成22年度で完了し、大坂間地区もすでに着工されております。

一方上流の渡地区においては、島田地区において小川川の河川改修事業が熊本県において進められ、新たな小川橋の架橋も現在施工中で、引き続き取り付け道路の整備及び築堤が始められる計画となっております。また、その他渡地区の洪水防止対策、鵜口地区の洪水による孤立化対策に

ついでには、議会の皆さまとともに、国及び県に対して、強力な要望活動を展開し、その実現に努めることといたします。

本村は、急峻な山々に囲まれており、斜面のわずかな平坦地に集落があります。その集落の危険地にある住宅の安全確保を図るために、急傾斜地崩壊対策事業を推進しています。これまで村内各地で順次整備が進められており、砂防など継続される事業のほか、平成23年度は、新規に田代・楮木の2つの地区で事業が実施されることとなっています。次に、快適な生活のためには、安全で安心そして安定的な飲料水の供給は重要です。現在、村内には村営の簡易水道施設が4施設、地域で運営する簡易水道施設が4施設ありますが、その他それぞれ共同で簡易給水施設を整備して給水している集落もあります。



第1分団の詰所と積載車

業費を見込んでおります。

今後さらに水源を守るための水源域の環境保全や、安全でおいしい水を安定的に供給するための、水道施設及び簡易給水施設整備を継続して進めます。

また、生活雑排水の浄化による水質保全と居住環境の整備を目的として、引き続き浄化槽設置事業及び生活排水設備設置事業を推進していくこととしています。

次に、防災・防犯・交通安全対策について、広範な面積を持つ本村では、火災・水害等の災害に対する備えを万全にしておく必要があります。今後も引き続き、自主防災組

織の育成や村民の防火・防災意識の高揚を図るとともに、消防施設の整備や装備の近代化を推進、常備消防である人吉下球磨消防組合との連携のもと、消防体制の充実強化を促進します。

なお、平成22年度に消防団第1分団に対して2台目となる小型ポンプ積載車を導入いたしました。これで、全ての分団において複数の小型ポンプ積載車の配備が完了したことになります。

交通安全対策では、高齢者が交通事故に遭うケースが依然として多い傾向にあります。今年2月にも神瀬の国道で自損による死亡事故が発生しました。

今後も警察や関係機関・団体とも連携し、交通安全の意識高揚に努め、さらに、カーブミラーや防犯灯等の交通安全施設の整備に取り組みます。

地域情報化の推進につきましては、昨年9月末までに携帯電話が全ての集落地域で通話が可能となりました。また、光ファイバーの整備による地上デジタル放送の視聴と、高速インターネットが村内どの世帯においても利用可能な状

態となり、長年の懸案であった情報網の整備が実現できました。今後は施設の運営維持と光ファイバーの更なる活用を広げていきたいと考えております。

村としては、光ファイバー活用の一環として、まず1週間に1回ずつ、渡と神瀬出張所を設け、職員を派遣し、諸証明の発行事務などを試行的に実施したいと計画しています。その他福祉サービスや、防災連絡網などの活用を検討し、今後さらに、村民の安全で快適な暮らしの環境づくりや行政サービスの向上に努めてまいります。

『棚田まるごと博物館』への取り組み



「棚田まるごと博物館」事業の立ち上げ

次に、豊かで活力に満ちた産業づくりについてです。

本村の基幹産業である農林業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあり、農林業と観光及び商工業を結ぶ、新たな産業振興施策を展開する必要がありますと考え、その取り組みを進めています。

計画しているのは『棚田まるごと博物館』事業の立ち上げであります。その目指すところは、まずは農地の保全、そして、棚田を復活して都市住民との交流促進、ひいては農業振興であります。

平成23年度は、これまで取り組んでおります『中山間地直接払い制度事業』や『農地、水、環境保全対策事業』、『棚田保存会育成事業』等これまでに取り組んできた事業に加え、『農地保全応援隊』事業や各種農業体験交流事業等、先に述べました目的に関わる事業を総括したものとしております。

次に、旧一勝地第二小学校校舎の活用であります。その方向性については、農業体験を基に交流施設とすることで、改修いたしました。なお、施設の名称であります。公募した結果、34点の応募があり、

それをもとに『田舎の体験交流館「さんがうら」と呼ぶことに決まりました。また、今後村が管理運営に当たることとしておりますが、地元の協力も当然必要でありますし、平成24年度中に法人化する計画でありますので、その点も考慮し、運営委員会を3月30日に立ち上げました。もちろんこれには村も参画し、協働して取り組みたいと考えます。

林業の振興では、近年、山林所有者の高齢化や若年層の林業離れが加速し、手入れのされない森林が多くなりました。このままでは、森林の持つ多面的機能の維持はもとより、国土保全にも影響を及ぼしかねない状況にあります。森林組合とも連携し、引き続き、林道・作業道等基盤整備を進めるとともに、間伐の促進や有害鳥獣捕獲事業等、森を守り、育てる支援をしていきます。

さらに、旬園の園地講習を積極的に進め、「早掘筍」の出荷を推奨し、シイタケ栽培等も合わせた特産林産物の出荷を奨励していくことといたします。

商工業につきましましては、近

隣に大型店舗の出店や人口の減少など、その経営が厳しい状況ではありますが、商工会と連携しながら、本年は、プレミアム商品券の発行など実施、経営基盤の安定に向けて、支援を行ってまいります。

商工会青年部を中心として、毎年開催されています「日本一の大鮎釣り大会」は、昨年は口蹄疫問題で中止となりましたが、今年で20回目を迎えることとなります。全国的に本村をアピールする大会として定着していますので、引き続き地域づくり人づくり基金で対応していくこととしています。

観光の振興では、観光協会と協力し引き続き観光客の誘致拡大を図ることとします。球磨村には、他にない観光資源があります。奇岩怪石を縫って奔流する球磨川、3億年の歴史を刻む球泉洞、百姓の汗と涙で守られてきた棚田、霊験あらたかな柴立姫神社ほか、多くの自然・歴史の資源を掘り起こし、グレードアップして行くかはこれからの課題です。今後とも観光協会加盟団体と協力しながら、地域資源を活かした都市住民との交流

を基盤とした地域の活性化を推進する活動を展開してまいります。

また、都市部に住む本村関係者による「カワセミ会」の設立を進めてまいりましたが、平成23年度は、東京が8回目、東海が3回目、関西が6回目、福岡を中心とした九州が5回目の開催になります。会員数は457人となっております。その充実・発展を支援してまいります。新しい取り組みとして、今年から本村からの特産品等の宅配便を始めます。同時に、コメの宅配便のアンケート調査をすることとしています。

本村のキャッチフレーズは「急流と鍾乳洞の里」であります。球磨川や鍾乳洞等の自然と温泉、そして人情豊かなふる里を積極的にPRするとともに、隠れた資源の発掘と、他にない資源の整備を図る必要があります。今後、一勝地温泉「かわせみ」や「球泉洞」を核とした周遊コースを定着させ、インターネットをはじめカワセミ会等をフル活用して、球磨村の魅力を発信してまいります。

老人保健福祉計画を

次に、やすらぎと思いやりの地域社会づくりについてです。

高齢社会を迎え、誰もが健康やかに生きがいを持って暮らしたいと願っています。医療・福祉・介護といったこれらのサービスは全国においても需要が拡大しつづけており、年齢を問わず健康社会の構築は重要な課題です。

平成23年度には特別養護老人ホーム千寿園がユニット型の老人ホーム20床を増築し、介護サービスが拡充されるこ

ととなります。

介護保険事業については、給付と負担の適正な運営を図るとともに、安定的なものにしていくことが求められます。特に、平成23年度は老人保健福祉計画及び介護保険事業計画の見直しの年度であり、平成24・26年までの事業と保険料を決めることとなりますので、老人福祉については大きな節目の年となります。また、介護状態になるのを先延ばしにする高齢者の育成も必要です。ふれあいサロンの充実、転倒骨折予防教室、生きがい活動支援など介護予防施策の充実、緊急通報体制の整備等サービスと質の向上など、高齢者が、地域社会において健康やかに日常生活を送ることができるよう努めてまいります。特に、地域包括支援センターの体制強化を進めたいと考えます。

元気な村は村民が健康であることが基本です。平成20年度からは健康診査及び保健指導を各医療保険者が行うことになっていきます。

健診の積極的な受診勧奨や、生活習慣の改善に重点を置いた保健指導を展開し、栄養指



「ふれあいサロン」を支えるサポーター

導や食生活改善にも力を入れることにしています。

また、国民健康保険事業や後期高齢者医療の健全運営も考えなければなりません。これら保健・医療・福祉のサービスは、それぞれの法律・制度に基づいて実施されますが、村民の皆さまには切り離して考えることができない一連のサービスを一層進めてまいります。

福祉バスは年間約5,300人の利用があり、交通空白地区の貴重な交通機関となっていることから継続して運行します。

また、シルバー人材センターは、高齢者の生きがいづくりや社会参加を目的として事業を推進しておりますが、平成21年度は241件を受注、就業延べ人員1,077人で、契約額は約5,760千円、会員分配金は、4,816千円になっています。引き続きその支援に努めます。

児童福祉につきましては、乳幼児の健やかな成長を願うとともに、働く保護者を支援するために、保育料の負担軽減をはじめ、保育所と連携し延長保育や地域子育て支援拠点

事業などの推進を図ります。

また、これまでは乳幼児医療費助成を就学前までとしておりましたが、これを拡大し、小学校6年生までといたします。

障害者施策につきましては、障害者の在宅・施設の生活支援など福祉サービスや、医療費助成等の取り組みをしていきます。

球磨中プールの改修 社会教育の充実も重要

次に、「明日を拓く人づくり」について申し上げます。

学校教育におきましては、各学校において、習熟度別学習の導入や小・中学校の連携を強化することによって、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る教育実践が展開されています。

平成22年4月、小学校再編により、小学校が渡小学校と一勝地小学校の2校になりました。再編に先立ち工事を始めた一勝地小学校の校舎建築をはじめ、校庭の整備、プールの改修、体育館の耐震補強工事等、一連の事業を進めて

まいりましたが、総事業費6億9,900万円を投じ、整備を終えることができませんでした。

渡小学校においても、プール脱衣場の改修、体育館トイレの改修などを実施、それぞれ小学校の施設整備を進めてまいりました。

また、教育事業としては、引き続きアフタースクールの開設や子ども避難の家による安全対策、学社融合推進事業、特別支援事業等を展開、児童の健全育成に努めます。

平成23年度では、球磨中学校プールの改修工事を計画しているほか、給食室の改修に伴う設計委託を実施いたします。また、スクールバス路線の見直し拡充のため、バスの買い替えや職員の増員を実施します。

今後も学校教育施設の整備と児童・生徒の学習環境の整備、安心・安全な登下校の実現に努めてまいります。

社会教育では、まず地域コミュニティ構築をどう進めるかが重要と考えます。行政区再編が実現して3年、地域住民が自ら考え、自ら実行する、そして行政の支援と相まっ

て、暮らしの安心、安全そして快適な環境づくりや福祉活動、コミュニケーションを深める奉仕活動、イベントや祭りの開催等、活発な地域コミュニティ活動が積極的に行われることを期待しています。同時に行政区を基盤とした、消防団や体育協会の分会、公民館活動等を展開する一連のコミュニティ組織の強化について支援します。

自ら意欲的に参加する生涯学習活動や文化活動、スポーツ活動を支援していくことも必要と考えます。それは生きがいを助長し、健康づくりにつながります。社会教育の果たす役割は重要であり、その



スクールバスによる安心・安全な登下校

充実に努めます。

健全な財政運営をめざします

最後に、行財政運営について。

行政改革については、平成22年3月に策定しました「行政改革大綱」及び「集中改革プラン」に基づき、徹底した改革の推進に取り組むこととしております。職員の定員適正化も順調に進んでいます。今後さらに行政組織の合理化に取り組む必要があります。地方分権や権限移譲がさらに進められていく今日、これまでの改革の成果を踏まえ、さらにこれからの球磨村を大きく前進させるために、出来るだけスリム化し、効率的な行政システムの構築を進める必要があります。同時に、財政的にも収支の均衡を保ちながら、適正な行政水準を確保していくことも肝要です。そして長期的展望に立って、振興計画に基づいた適正、効率的な財政運営を進めてまいります。

「水と緑と人がきらめく球磨村」を目指して

平成23年度 予算決まる

平成23年度の一般会計・特別会計予算が3月に開会された議会定例会において、可決されました。

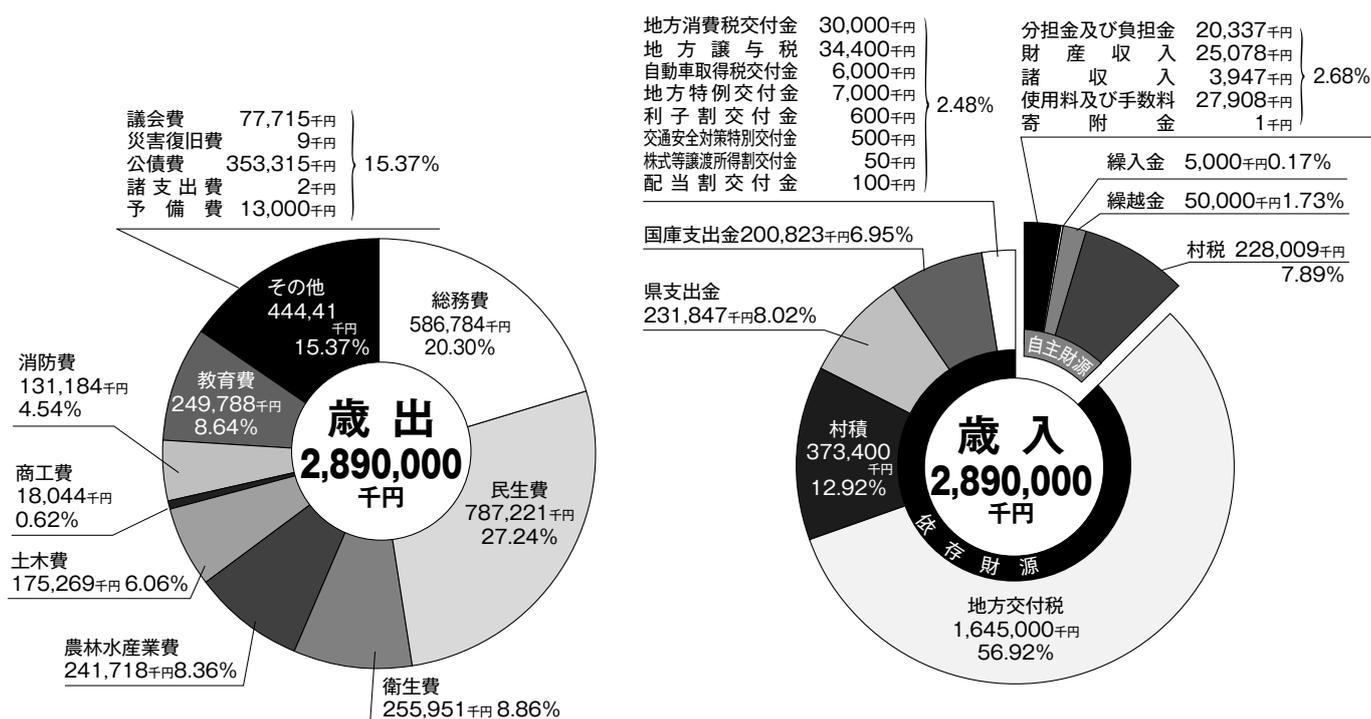
球磨村一般会計予算は、28億9,000万円で、前年度に比べ、3,400万円、約1.3%の増額となっています。

予算編成においては、いまだ厳しい財政状況のなか、歳入総額の約56%を地方交付税が占め、依然として交付税に頼らざるを得ない状況ですが、行財政改革を推進し、自主財源の確保に努めた予算編成となっています。

【予算の内訳】

一般会計予算 28億9,000万円

村民1人当たり 644,657円



歳出 こんなことにかかわれます

(人口は4月1日現在 4,483 人です)

586,784 千円

総務費

地方バス路線維持費補助金 23,500 千円
 区長活動費 3,650 千円
 班運営助成金 3,840 千円
 人吉球磨広域行政組合負担金 7,890 千円
 情報通信施設管理費 28,868 千円 など



村民一人当たり **130,891 円**

787,221 千円

民生費

障害者福祉サービス等事業費 94,722 千円
 敬老年金 6,948 千円
 老人福祉施設措置費 21,548 千円
 延長保育促進事業補助金 16,900 千円
 地域子育て支援拠点事業補助金 5,265 千円
 保育所運営費 183,720 千円 など



村民一人当たり **175,601 円**

255,951 千円

衛生費

各種検診委託料 10,085 千円
 子ども医療費 12,000 千円
 予防接種委託料 10,161 千円
 人吉球磨広域行政組合負担金 79,717 千円
 浄化槽設置整備事業補助金 9,200 千円 など



村民一人当たり **57,094 円**

241,718 千円

農林水産費

森林整備地域活動支援交付金 15,000 千円
 間伐材利用推進事業補助金 20,000 千円
 有害鳥獣捕獲事業補助金 9,000 千円
 産業振興対策事業補助金(農業・林業) 7,000 千円
 中山間地域等直接支払交付金 5,408 千円 など



村民一人当たり **53,919 円**

18,044 千円

商工費

商工会助成金 8,500 千円
 県観光連盟負担金 100 千円
 人吉球磨地域観光推進協議会負担金 85 千円 など



村民一人当たり **4,025 円**

175,269 千円

土木費

村道工事請負費 50,000 千円
 村道維持費 20,000 千円
 急傾斜地崩壊対策事業負担金 3,790 千円
 県営事業負担金 5,000 千円 など



村民一人当たり **39,096 円**

131,184 千円

消防費

人吉下球磨消防組合負担金 97,035 千円
 消防団員報酬 9,132 千円
 消防補償等組合負担金 7,196 千円
 消防施設整備工事 1,350 千円 など



村民一人当たり **29,262 円**

249,788 千円

教育費

小学校費 19,834 千円
 中学校費 61,440 千円
 社会教育費 33,762 千円
 保健体育費 13,879 千円 など



村民一人当たり **55,719 円**

444,041 千円

その他

議会費 77,715 千円
 災害復旧費 9 千円
 公債費 353,315 千円
 諸支出金 2 千円
 予備費 13,000 千円 など



村民一人当たり **99,049 円**

特別会計予算

(単位：千円)

	本年度予算 (当初)	昨年度予算 (当初)	増減
国民健康保険	598,000	606,000	▲ 8,000
後期高齢者医療	57,124	60,130	▲ 3,006
介護保険	655,471	581,211	74,260
簡易水道	109,000	53,000	56,000

地域発展の拠点施設が開所

田舎の体験交流館『さんがうら』

4月1日に、田舎の体験交流館『さんがうら』で開所式が行われました。

同施設は、昨年3月に閉校した旧一勝地第二小学校の校舎を滞在型の農林業体験施設として、都市との交流や、地域の発展につながる拠点として、宿泊室や研修室、食堂、浴室などに改修し今年3月に完成しました。



テープカットをする柳詰村長と関係者

当日は、関係者と、この日にゲートボールを併せて開催した地域の老人会の会員が出席、柳詰恒雄村長、富永敏夫施設長、永椎龍一産業振興課長、西久老人会会長が、正面玄関でテープカットを行いました。

皆様と共に全国へアピール

柳詰村長は、「昨年4月に閉校し、どのように活用するかを地域の方々と話し合いをしてきました。結果、三ヶ浦地域が梨や栗、イチゴをはじめとする農業の地域であるので、農業を中心とした体験施設と決まり、これまで、体験交流をする施設として改修をしてきました。これからは、全国からこの施設に泊まりにきて、様々な産物を買っていただき、地域の中で、梨狩りや、栗狩りなどの体験をしてもらいたいと思います。施設の名前は、全国から34点ほど応募があり、その中から、田舎の体験交流



施設で従事する富永施設長・松江さん・林さん

館『さんがうら』と名前が決定しました。皆様も、学校があったときと同様に施設を利用してください。また、オーブンは7月を予定しており、全国に『さんがうら』をアピールしていきますので、梨の袋がけや梨狩りなどの体験を是非、知り合いの方へ話していただき、皆様と協力して盛り立てて行きたいと思えます。」と挨拶しました。

その後、施設の運営等に従事する富永敏夫施設長、事務の松江由香さん、調理等を行う林エミ子さんを紹介しました。

田舎の体験交流館『さんがうら』利用料

施設名	区分	利用料
宿泊室	1泊一人につき 一般・大学生	3,000円
	1泊一人につき 中・高校生	2,500円
	1泊一人につき 4歳以上小学生	2,000円
ふれあい交流室	1時間につき	500円
文化交流室	1時間につき	500円
研修室(大)	1時間につき	500円
研修室(小)	1時間につき	400円
調理実習室	1時間につき	500円
談話室(和室)	1時間につき	500円
相談室	1時間につき	500円
屋内運動場	1時間につき	210円
夜間照明施設	1時間につき	735円



地域の方に見守られながら『さんがうら』が開所



食事を調理する厨房

浴室は広々と使えます

田舎の体験交流館『さんがうら』 運営委員会が発足

3月29日（火）、田舎の体験交流館『さんがうら』で、平成23年度から施設を円滑に運営するため、運営委員会が行われ、20名の委員へ委嘱状が交付され、運営委員会規約、理事選任、平成23年度事業計画案、同じく予算案が審議されました。



木の温もりのある食堂



運営委員に委嘱状を交付



規約等話し合う運営委員

館長は柳詰村長が務め、委員には、行政代表、地区代表、女性代表、球磨村グリーンツーリズム研究会、球磨村棚田保存会、地域団体（体育協会・老人会）、施設長を委嘱、その中から、運営委員を代表して、理事6名が選任されました。



2階は宿泊用にベッドを設置



開票作業写真

平成二三年四月十日に、熊本県議会議員一般選挙の投票が行われ、有権者が村内十五箇所に設置された投票所を訪れ、一票を投じました。公示日翌日の四月二日から九日までの八日間、役場に設置された期日前投票所には、二〇五名が訪れ、投票を済まされました。また、病院や施設、郵便投票で投票された方も二六名ありました。投票は、一部の地域を除き

球磨村では、二七九四名が一票を投じる

熊本県議会議員一般選挙開票結果

午前七時から午後六時まで行われ、投票率は、七七・三九パーセントでした。

開票作業は、午後八時からコミュニティセンター清流館で行われました。疑問票も多くなかったことから、スムーズに開票作業も進み、午後八時三六分の確定となりました。

【開票結果は次のとおり】

球磨村の有権者数及び投票者数

区分	男	女	計	
当日有権者数	1,781	2,026	3,807	
投票者数	1,313	1,481	2,794	
内訳	当日投票者数	1,182	1,381	2,563
	期日前投票者数	120	85	205
	不在者投票者数	11	15	26
棄権者数	468	545	1,013	
投票率	73.72%	73.10%	73.39%	

熊本県議会議員一般選挙開票結果

20 : 36 確定	
投票者数	2,794
有効投票者数	2,756
無効投票者数	38

氏名	政党名	得票数
松田 三郎	自由民主党	1,630
まるやま 博	民主党	252
おがた 勇二	無所属	874

平成23年度 就業支援講習会のお知らせ

熊本県母子家庭等就業・自立支援センターは、母子家庭のお母様方の自立支援を目的として、毎年、資格取得のための講習会を実施しています。平成23年度の講習会は次のとおりです。受講費は無料（但し、テキスト代、検定料は自己負担）となっておりますので、みなさま方のご参加をお待ちしています。

◆資格取得のための講習会

この内容は、計画ですので、講習会場・日程などが変更になることがあります。

講座名	講習日数	講習期間（予定）	会場（予定）	募集定員	申込期限
介護事務講習	8日間	5月21日～7月9日 （毎週土曜日）	母子休養ホーム しらゆり会館 （熊本市錦ヶ丘）	30人	5月6日（金）
家庭生活支援員養成講習 （ヘルパー2級課程）	30日間	○県央会場 ○地域会場 6月～11月 （週1日～2日）	（講義） 県央会場：県庁 地域会場：人吉市 （演習・実技） しらゆり会館 （実習） 地域の保育園、 福祉施設	30人	5月上旬

◆申込先

球磨村役場住民福祉課（詳細については下記お問い合わせ先までお尋ねください。）

（お問い合わせ先）

熊本県母子家庭等・自立支援センター

☎096 - 351 - 8777

球磨村役場 住民福祉課

☎0966 - 32 - 1112

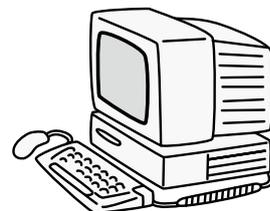
平成23年度情報通信月間行事 ゼロからはじめるインターネット教室

球磨村では、村内全域に光ファイバー網を整備し、全世帯で高速インターネットが利用可能となりました。

そこで、パソコン初心者の方やインターネット初心者の方を対象に、パソコンの基礎知識や基本操作、インターネットの利活用方法などを学ぶための教室を下記のとおり開催します。

参加費は無料です。是非ご参加ください。

- 日時：平成23年5月25日（水）
午後7時30分から午後9時00分
- 会場：球磨中学校 パソコン教室
- 内容：①パソコンに関する基礎知識や基本操作
②インターネットの利活用方法 など



※ワープロソフトや表計算ソフト等の使い方や携帯電話等を使ったインターネットについては、今回は対象外とします。あらかじめご了承ください。

※参加を希望される方は、事前に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先：球磨村役場 総務企画課 企画広報係 ☎32-1138



平成23年度住民健康診査の内容について

今年度は8月17～24日の8日間を予定しておりますが、5月末健診の希望調査を行いますのでよろしくお願いします。

保健師
より

今回は健診の種類についてお知らせします。

この「特定健診は」、球磨村の国民健康保険の40～74歳までの方が必ず受けていただきたい健診です。「特定健診」以外の「がん検診」は、村民全員が対象となります。



健診名	内容
わかもの 若者	以前「基本健診」と呼ばれていたもので、年齢区分によって3つの健診に分かれます。
とくてい 特定	「特定健診」は40～74歳まで、それ以前を「若者健診」、75歳以上を「後期高齢者健診」と呼びます。
こうきこうれいしゃ 後期高齢者	身長・体重・血圧測定・採血（糖や脂質などの血液検査）です。「心筋梗塞」「脳梗塞」などにつながる動脈硬化の状況を調べます。腎機能の状態も分かります。
はい 肺がん	胸部エックス線検査で、肺全体を撮影します。
だいちょう 大腸がん	2日分の便を提出し、便中の血液の混ざりを調べます。
い 胃がん	バリウムと発泡剤（胃を膨らませる薬）を飲み、エックス線撮影で、胃の形や粘膜を観察します。
ふくぶちようおんぱ 腹部超音波	肝臓・腎臓・胆のう・胆道・すい臓などを超音波で検査します。
しきゅうけい 子宮頸がん	子宮がんには、頸がんと体がんの2種類がありますが、この検査は、子宮の入り口部分の頸がん検査です。フブラシで組織を採り、がん細胞の有無を調べます。現在、若い世代でかかる方が多く、20歳から受けていただきたい検査です。
にゅう 乳がん	女性の20人に1人がかかるがんです。「マンモグラフィー」は乳房専用のエックス線撮影で、石灰化のある乳がんの発見に有効です。
ぜんりつせん 前立腺がん	血液検査で、前立腺特異抗原が血液中にどのくらい含まれているかを調べます。
こつそしょうしょう 骨粗鬆症	骨の密度をエックス線で調べます。
かんえん 肝炎ウイルス	肝臓がんは、B型・C型のウイルス性肝炎から起ることが多いため、これらのウイルス感染を血液検査で調べます。



今後もシリーズで、健診の現状、必要性をお伝えしていきます。

★ご不明な点は、健康衛生課 保健師まで

(☎0966-32-1139)へ

入学おめでとう！

球磨中に34名が入学



平成二十三年年度の球磨中学校の入学式が、四月八日に同校の体育館で、在校生や教諭のほか保護者、来賓多数が参列して開催されました。

三十四名の入学生が、大きな拍手の中を、緊張した面持ちながら堂々と入場しました。友尻憲秀校長が、「人の想いがわかる、時間を大切に、掃除を頑張る、あいさつができる、『心のリーダー』を目指して頑張ってください。学級や部活動の仲間とともに励まし合い助け合い、たくさん経験を積んでください。」と激

励の言葉を送り、その後、柳詰村長、柳詰村議会議長、永椎PTA会長が祝辞を述べました。

たくさんのお祝いの言葉や激励の言葉を受け、入学生代表の山下雄大さんが誓いの言葉を宣言し、生徒会長の板崎



球磨中学校入学式

純生さんが在校生を代表して歓迎の言葉を述べました。

翌週の四月十一日には、渡小学校と一勝地小学校の入学式が行われました。

渡小は17名が入学

渡小学校では十七名の新入生が入学し、松田晃二校長が

「今日から渡小学校の一年生です。小学校ではたくさん教科書を使うし、図書館にもたくさんの本があります。本をいっぱい読んで勉強してください。そして、すてきな『あいさつ』、すてきな『えがお』、すてきな『へんじ』、の3つをしつかり頑張ってください。」と挨拶されました。

一勝地小14名が入学

体育館が改修された一勝地小学校では十四名の新入生が入学し、中村和弘校長が「在校生や先生方、そして教室の机や棚も皆さんが入学してくるのを楽しみに待っています。友達と仲良くし、自分よ

平成21年度 学校別児童・生徒数 H23.4.11現在

	渡小	一勝地小	球磨中
1年	17	14	34
2年	21	12	31
3年	22	25	33
4年	18	19	
5年	7	14	
6年	19	12	
合計	104	96	98



一勝地小学校入学式



渡小学校入学式

り弱い友達を守ってあげてください。自分でできることは自分でやりましょう。交通の決まりを守って自分の命を大切にしてください。」と挨拶されました。

両小学校の新入生たちは、校長先生や来賓の言葉に「はい！」「ありがとうございます！」

「す！」と元気に返事をしていました。また、両小学校の新入生には、村から一人一人に黄色い帽子などが贈呈されました。

平成二十三年年度の各学校の児童数・生徒数は左の表のとおりです。

落着いた雰囲気の中で支援

千寿園別館『まごころ』が完成

3月29日（火）、特別養護老人ホーム千寿園で、10周年記念式典と、昨年度から建設が進められていた別館『まごころ』の落成式が行われました。

新に完成した施設は、個室とグループでの共同生活が出来るユニット型の介護施設で、2ユニット20人が入所可能で、旅館を思わせる玄関から、広々とした個室や浴室、中庭が眺められる『山桜』と『路の臺（ふきのとう）』をイメージした色合いの共同生活室など、「和・



玄関前でテープカットを行う

木の温もり」をコンセプトにゆっくりと落着いた雰囲気の中で快適な生活が出来るよう工夫されています。



挨拶をする小川理事長

当日は、駐車場で神事と落成式が行われ、小川美智子理事長が、「新しく完成した個室ユニットは、その人らしく生きていくことを支援し、歩まれてきた人生を尊重していくことを目的としています。完成までは、県や村を始め地域の方々、多くの方へお世話になりました。また、

予定していました、祝賀会は東北関東大震災で被災された方々を思い自粛しました。今後は、球磨村の福祉にしっかりと応え、職員全員で誠心誠意頑張ります。」と挨拶しま

した。

その後、来賓として柳詰恒雄村長、熊本県議会松田三郎副議長、溝口幸治県議会議員、柳詰正治村議会議長が祝辞を述べました。



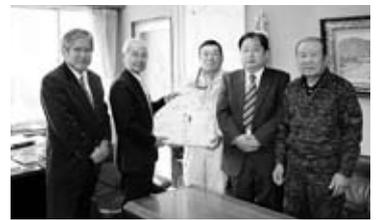
広々とした個室

また、地権者へ感謝状が贈呈された後、別館『まごころ』玄関にてテープカットが行われ、施設内の見学会が行われました。



落着いた雰囲気の共同生活室

ダイヤモンドリーグホームベースを寄贈



村哲司会長と源嶋敏郎副会長、渡邊巖前会長で、リーグに所属する8チームから寄せられた東日本大震災の義援金5万円と一緒に柳詰恒雄村長に贈りました。

受け取った柳詰村長は、「毎年、運動公園を使用して施設設備にも協力いただきありがたい」とお礼を述べました。

ダイヤモンドリーグの参加チームは次のとおりです。

- ・愛球会 ・蛍心
- ・織月酒造 ・キッズ
- ・峰山 ・とうちゃん
- ・エイトマン ・トクマル

郡市ソフトボールのダイヤモンドリーグ（上村哲司会長）が、四月七日に村長室を訪れ、試合会場の運動公園の備品として、ホームベース2枚を寄贈しました。

この日、来庁したのは、上

母校へ温かい寄付 同級会で何か貢献したい

3月23日（水）、球磨中学校（友尻憲秀校長）へ、卒業生より寄付がありました。

寄付をしたのは、平成3年に球磨中学校を卒業した89名のうち37名で、今年が卒業後20年の節目にあたり、今年の正月に同級会を開催し、何か球磨中学校へ貢献できることはないか話し合ったところ、寄付を募ればどうかとの意見から、賛同を得て3万円を寄

付しました。

この日は、代表して糸原地区の西竜一郎さんが寄付金を持参、「何か球磨中学校に貢献出来ればと思い、寄付をしました。」と話し、友尻校長へ手渡しました。



受取った友尻校長は、「貴重な寄付をありがとうございます。ごさいます。有効に使わせていただきます。」とお礼を述べました。

1日付けで、役場職員に異動がありました。よろしくお願ひします。

村長 柳詰恒雄 副村長 川口貞則 教育長 中根耕造

平成23年4月1日現在

課名 課長・課長補佐・主幹	係 名	係 長 ・ 参 事	係 員	主 な 担 当 事 務
総務企画課 課長 内布利人 (審議員) 蔀 敦己 (審議員) 日當美紀子 (主幹) 山口 隆雄 電話：32-1111 32-1138	総 務	山口 隆雄 (兼) (兼務) 永椎係長 (参事) 毎床 貴哉	(主査) 大岩 久人 (主事) 牛塚 友紀 (主事) 地下 翔太 (兼務) 部主事	職員の進退及び身分に関する事項 条例、規則等に関する事項 文書の審査、発送、整理保存に関する事項 議会及び村の行政一般に関する事項 村有財産に関する事項
	企 画 広 報	(兼務) 大岩係長	(主査) 佐々木 亨 (主事) 部 祐太郎 (兼務) 淋辰生主査	施策の企画、調整に関する事項 村政及び地域総合開発に関する事項 国土利用・統計に関する事項 広報公聴に関する事項 情報管理に関する事項
	財 政	大岩 正明	(主査) 淋 辰生	予算その他財政に関する事項
	防 災 交 通	永椎 樹一郎	(兼務) 地下主事	交通・消防、防災に関する事項
	村 長 公 室	日當美紀子 (兼)		村長の行事日程等に関する事項
税 務 課 課長 地下 正明 (課長補佐) 大坂間 淳 (主幹) 戸屋 武文 電話：32-1113	課 税	大坂間 淳 (兼) (参事) 木屋 正行 (参事) 山口 智幸 (兼務) 戸屋主幹	(主事) 淋 圭 (兼務) 舟戸主査	村税、国保税に関する事項 村税に係る証明、報告に関する事項 固定資産に関する事項
	徴 収	戸屋 武文 (兼) (兼務) 大坂間補佐 (兼務) 木屋参事 (兼務) 山口参事	(主査) 舟戸 文吾 (兼務) 淋 主事	村税、国保税の徴収に関する事項 後期高齢者医療保険料に関する事項 納税組合に関する事項
	地 籍 調 査	地下 正明 (兼)		地籍調査に関する事項
住民福祉課 課長 日隠 啓一 (課長補佐) 瓜生 文代 電話：32-1112 ※地域包括支援センター長 (兼務) 住民福祉課長	住 民	瓜生 文代 (兼) (兼務) 假屋係長	(主査) 高沢 美由紀 (主事) 松野 伊代 (兼務) 野々原しおり 主査	戸籍及び住民基本台帳に関する事項 窓口事務に関する事項 国民年金に関する事項 旅券事務に関する事項
	福 祉	假屋 昌子 (参事) 山本 美香 (参事) 友尻 陽介	(主査) 淋 真也 (主査) 野々原しおり (主事) 野々原真矢	社会福祉に関する事項 介護保険に関する事項 社会保障に関する事項
業務従事者 (兼務) 松村係長・假屋係長・山本参事・友尻参事・淋 主査・上部主査・野々原しおり主査 松本主査・野々原真矢主事 (10)				
健康衛生課 課長 柳詰 逸郎 (課長補佐) 大瀬 常喜 (主幹) 東 勝信 電話：32-1139	保 健 予 防	松村 玲子	(主査) 上部 美保 (主査) 松本 憲吾 (主事) 中園 茜	健康増進、住民健診に関する事項 保健事業に関する事項 公衆衛生に関する事項
	保 険 医 療	東 勝信 (兼)	(主査) 内布 偉貴 (兼務) 中園 主事	国民健康保険、老人保健医療に関する事項 後期高齢者医療に関する事項
	生 活 環 境	大瀬 常喜 (兼)	(主事) 永椎 文規	環境衛生、公害対策に関する事項 水道、下水道の維持管理に関する事
産業振興課 課長 永椎 龍一 (課長補佐) 金栗 邦代 電話：32-1114 32-1115	農 業	蔵谷 健 (委嘱) 箕田 道明	(主事) 岩本 紘一 (主事) 犬童翔一郎	農業及び水産業に関する事項 農地関係の調整に関する事項
	林 業	犬童 和成	(主事) 那良 昌宏	林業に関する事項 村有林に関する事項
	商 工 観 光	金栗 邦代 (兼)	(主査) 上部 準也 (兼務) 岩本 主事	商工観光、交流センター等に関する事項 ふるさと振興センターに関する事項
建 設 課 課長 川口道男 (課長補佐) 板崎 雄治 電話：32-1116	管 理	板崎 雄治 (兼)	(主査) 伊高久美子	建設課の庶務に関する事項 用地の取得及び補償に関する事項
	工 務	上 部 宏 (参事) 松舟 祐二	(主査) 毎床 公司 (主査) 高沢 健悟 (技師) 松野 翔吾	道路及び河川の技術に関する事項 公共施設建築の技術に関する事項 水道、下水道設置の技術に関する事項
会 計 課 会計管理者 (課長) 毎床喜代利 (主幹) 平松せい子 電話：32-1120	会 計	平松せい子 (兼)	(主査) 大坂間一樹	会計管理者の権限に属する事務処理に関する事項
教 育 課 課長 宮本 宣彦 電話：32-1117	総 務	宮本 宣彦 (兼)	(兼務) 大岩主事	教育委員会の会議に関する事項 教育委員会に係る経理その他に関する事項
	学 校 教 育	境日 昭博	(主事) 大岩 誉 (兼務) 松江 用務員	学校教育に関する事項
	社 会 教 育	高永 幸夫	(主査) 舟戸 光博 (主事) 地下 克愛 (用務員) 松江 実子	社会教育に関する事項 社会体育に関する事項
	球磨中学校 (用務員) 小川 陽子 (運転手) 椎屋 清・大岩 力 < 英語指導助手 メアリー・マステイン >			
議 会 事 務 局	事務局長 原 和彦	書記 (兼務) 牛塚友紀主事		
農 業 委 員 会 事 務 局	事務局長 永椎龍一 (産業振興課長兼務)	参事 箕田 道明		
選 挙 管 理 委 員 会	書記長 内布利人 (総務企画課長兼務)	書記 蔀審議員、山口主幹、永椎係長、大岩係長、毎床参事 大岩主査 (総務企画課兼務)		
監 査 委 員	書記 原 和彦 (議会事務局長兼務)			

人権擁護委員に上原正博さん



平成23年4月1日付けで、法務大臣から、上原正博さん（木屋角地区）に人権擁護委員の委嘱がありました。

人権擁護委員の仕事は、面談又は電話による人権相談に応じることや、一人ひとりの人権意識を高めるため、様々な人権啓発活動を行うことなどです。

いつでもご相談ください。

球磨村の人権擁護委員さん

松舟 喬さん	33-0825
板崎 壽一さん	32-1159
上原 正博さん	34-0020

地域の安心を守ります 駐在所に田中慎二巡查長が着任



この度、3月22日付で県警本部機動捜査隊から渡駐在所に赴任してきました田中慎二、27歳です。趣味は5歳のころからやっている空手です。昨年までは、県警の逮捕術部員としても活動していました。今回が、初めての駐在所勤務となりますが、自然豊かで、人情味溢れる球磨の地で勤務できることを大変光栄に思っています。

まだまだ若輩者で、ご迷惑を掛けるかもしれませんが、球磨村がこれまで以上に安全で安心出来る事件・事故のない村になるよう一所懸命頑張っていきますので、よろしくお祈りします。

よろしくお祈りします

教職員人事異動

平成23年度教職員の人事異動が発令されました。

異動は次のとおりです。

（ ）は前任地

渡小学校

▼校長

松田 晃二（五木北小）

▼教諭

島崎 奈美（甲佐小）

▼事務主任

北里 良徳（中原小）



代表で宣誓をする渡小学校、鬼塚俊夫教頭

一勝地小学校

▼教頭

鬼塚 俊夫（水東小）

▼事務主幹

重松 加代子

（二勝地小事務主任）

▼講師

内布 亜希（臨採）

球磨中学校

▼講師

中村 泰介（臨採）

▼講師

西村 慎太郎（臨採）

▼講師

工藤 桂輔（臨採）

▼講師

小川 由美（臨採）

▼技術職員

石塚 千美子（臨採）

▼事務職員

家城 浩子（臨採）

はじめまして

渡小学校

松田 晃二 校長



私は、26年前、教員として始めて赴任した学校が、この渡小学校でした。当時、担任していた子どもたちが、現在、保護者として子育てに励んでいることを知り、とてもうれしく、頼もしく感じた次第です。

今後、渡小学校の教育活動に関係していただく方々とともに、職員一丸となって、心豊かな子どもたちを育てていただきたいと思います。どうぞよろしく、お願いいたします。

渡小学校へは、いつでもお立ち寄りください。お待ちしております。

陽だまり

球磨村地域子育て支援センター「陽だまり」

〒869-6401 球磨郡球磨村大字渡乙763 (渡保育園内)
 TEL (0966) 33-0125 FAX (0966) 33-0173
 ホームページ <http://www.kmmb.jp/watari/>

球磨村地域子育て支援センター「陽だまり」は、月～金の9:00～16:00、土曜日は8:00～13:00まで開放しています。陽だまりサロンも月に3～4回やっています。下記の日程をごらんになり、親子でそしてマタニティさんもお気軽においでください。お待ちしております。

=ふしぎをさぐる= ～みて、きいて、ふれて、かんじる「ふしぎの日」～ 渡保育園

新しいおともだちを迎え、23年度がスタートしました。

進級した子どもたちが楽しみにしている中に、“渡のでんじろう”こと上田園長先生から教わる「ふしぎの日」があります。

これは、何気ない日常の中にある現象を子ども目線で「なぜ? どうして? すごい!!」とふしぎに思うことを「みて、きいて、ふれて、かんじる」実験あそびです。実験は、空気の流れ、風の流れ、水の流れ、熱の流れなど、いろんなあそびを通して、「危険性」もともなうことなども学びながら、生きるための力を身に付けていきます。子どもたちがふしぎに思い、考える力を持ち、好奇心や創造性をより豊かに育みます。



観葉植物を置いて
保育室もリニューアル

(毎月2回、4・5才児の子どもたちが楽しんでいきます。)



熱気球の実験



親子で

《3～4、 8～9ヶ月 健診》



★陽だまりサロン★

高菜の本漬けをしました。おいしく漬かりましたよ! 3月のママ誕生会もしました。



高菜を塩で力を入れて、もみもみ!



3月の誕生会メニュー



毎回、楽しいフリートーク。会食もにぎわいます。



陽だまりキッズ大集合♡



《赤ちゃんこんにちは》



《5月「陽だまり」行事予定》

- 6日(金) 陽だまりサロン
- 11日(水) 陽だまりサロン
- 12日(木) 3～4、8～9ヶ月健診
- 17日(火) 陽だまりサロン
「子どもの体力について」
- 24日(火) ママ誕生会
- 26日(木) 3才6～9ヶ月健診
- 28日(土) りんごの木サークル

平成23年度 球磨村社会福祉協議会 事業計画・収支予算が決定しました！

平成23年度 一般会計収支予算書

収 入	(単位：円)	支 出	(単位：円)
① 会費収入	737,000	① 人件費支出	74,803,000
② 寄付金収入	2,000,000	② 事務費支出	10,902,000
③ 経常経費補助金収入	1,341,000	③ 事業費支出	15,812,000
④ 助成金収入	19,555,000	④ 貸付事業等支出	500,000
⑤ 受託金収入	126,000	⑤ 共同募金配分金事業	1,049,000
⑥ 事業収入	682,000	⑥ 歳末助け合い事業費	1,450,000
⑦ 貸付事業等収入	200,000	⑦ 助成金支出	904,000
⑧ 共同募金配分金収入	1,041,000	⑧ 積立預金積立支出	59,000
⑨ 介護保険収入	70,450,000	⑨ その他の支出	5,867,000
⑩ 自立支援費等収入	500,000	計	111,346,000
⑪ 利用料収入	30,000		(単位：円)
⑫ 雑収入等	2,650,000	当期資金収支差額	△ 12,034,000
計	99,312,000	前期末支払資金残高	32,929,000
		当期末支払資金残高	20,895,000

去る3月23日に開催された理事会・評議員会において、平成23年度事業計画及び収支予算が審議され、次の通り承認されました。

平成二十三年度も昨年同様、①住民の社会福祉事業への参加推進②在宅福祉活動の推進強化③在宅介護支援事業の充実④地域福祉活動計画の推進を重点目標としました。

在宅での生活を維持していくための支援として、球磨村地域福祉ネットワークづくりに社会福祉協議会の特性を生かし、介護保険事業や介護予防事業の推進、新たな福祉サービスの推進で心ふれあう「福祉の村

づくり」を強化することにより、住みよい球磨村を目指します。

球磨村高齢者生活福祉センターは、村内の高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるように、ふれあいサロン事業への協力、地域や老人クラブへ温泉を利用した交流の機会や居住を提供する福祉事業の拠点として、関係機関団体と密接な連携を図ることにより、住民福祉の向上に努めます。

東北関東大震災義援金

このたびの東北関東大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東北関東大震災については、災害規模が激甚であることから、中央共同募金会では、全国災害たすけあいとして被災者への義援金を募集されることになり、球磨村社会福祉協議会の方でも、3月12日より義援金箱を窓口に設置させていただきます。

今回3月31日までにお預かりしました義援金の合計 **116,441**円は、4月5日に熊本県共同募金会の方に送金させていただきました。義援金募集期間は、平成23年3月12日より平成23年9月30日まで行っています。

- 義援金箱
- 球磨村ゲートボール協会
- 球磨村グラウンドゴルフ協会
- 下区老人クラブ
- 那良川老人クラブ
- 個人 1名
- 球磨村社会福祉協議会職員互助会



- 中園 嘉八 様(故 スエ子)
- 中塚 光宏 様(故 直子)
- 椎屋 幸一 様(故 ふみ)
- 板崎 新一 様(故 正子)
- 川口 一雄 様(故 ミツ子)

(三月分)

社会福祉協議会へ御遺族の方々から香典返しとして御寄付いただきました。皆様のお気持ちを大切に役立てたいと思います。

香典返し

よせられた善意



平成 22 年度総会

平成 23 年 4 月 2 日 (土)、渡多目的集会施設にて平成 22 年度総会を実施しました。今回は 3 月 11 日に「東日本大震災」が発生したため、慰労会は自粛しての総会となりました。

18時30分ちょうどに開始されました。青年団総会が時間どおりに開始されるのは極めてずめずらしいことです。来賓には、柳詰村長様をはじめ、中根教育長様、球青協役員、球磨村教育委員会事務局から出席いただきました。まず、那良体育部長より「平成 22 年度は新事業の球磨郡 P T A 大会でダンスをしたことが 1 番の思い出」と平成 22 年度の思い出を振り返りながら団長代理のあいさつをしました。次に柳詰村長様、中根教育長様、黒木球青協常任理事様より祝辞をいただきました。



議事については、議長の野々原君が会を進め、全て原案どおり可決しました。最後に、地下翔太君が新入団員として紹介がありました。地下君は大学時代、箱根駅伝で活躍していましたので、今年度の駅伝は気合いが入ります☆ 今年度は「今、改革!!そして飛躍へ」をスローガンに、地域とともに伸びゆく青年団を目指し、頑張りますのでよろしくお祈いします。

平成 23 年度 役職・役員名

役職名	役員名	備考 (球青協担当)
団 長	岩戸 龍也	
副 団 長	犬童翔一郎	祭関係
副 団 長	原 麻美	
文 化 部 長	野々原真矢	生活部・そうめん販売
文化副部長	中渡 考之	〃
体 育 部 長	部 祐太郎	
体育副部長	小川 拓郎	
企 画 部 長	地下 克愛	教育宣伝部 レクリエーション部
企画副部長	大岩 誉	〃
事 務 局 長	大岩 誉	組織部・社産部
事務局次長	那良 昌宏	〃
会 計	中園 茜	
監 事	岩本 紘一	
監 事	内布 偉貴	

平成 23 年度 事業計画

4月	新入団員歓迎会・文化祭練習
5月	文化祭練習
6月	文化祭練習
7月	寺子屋
8月	キャンプ
9月	クリーン大作戦
10月	村民体育祭・ふれあいまつり
11月	全国青年大会
12月	クリスマスサンタ大作戦
1月	研修会
2月	役員会・会館清掃
3月	高校生レクリエーション・総会



議長と書記



新入団員の地下君

青年団てなんな!?

青年団とは、体育祭・文化祭をはじめ、いろんな活動(左記のとおり)をします。内容がわからない人は下記のHPをご覧ください。『めんどくさそう』という印象を持っているあなた!それは全く違います。学生時代、何事にも全力で燃えていたあの頃を。それを体感できるのが青年団です。なんさま参加してみてください(>_<)

100%の確率で、「笑う」・「泣く」・「楽しむ」の3つを体感したいあなたへ!~

青年団の活動に参加してみませんか?暇なときに「参加してみようかな~。」という感じで大丈夫です!!他の市町村の方でも誰でも参加できます。ちょっとでも興味持たれた方、ぜひどうぞ!手軽にホームページからOKです。

ホームページには広報と違った一面を載せてます(*^_^*)
(パソコン) <http://k-yqa.net/> (携帯電話) <http://k-yqa.net/i/>



みんなの 広 場

このスペースは、村民みなさんからお寄せいただいた「川柳」「俳句」「短歌」を掲載します。全部を掲載できない場合もありますのでご了承ください。

【肥後狂句】 兆吉の肥後狂句集より

- ・ えしれんこつ 出て行く姑 止めんでも
「渡りに船」と思っておれば亭主が止めたという場面か
古い句に「どっちも嘘死ぬちゅう姑止める嫁」がある
- ・ 丸太ん棒 まだ戸締まりも 原始的
今では時代劇しかお目にかかれぬが、昔は田舎でよく
見かけたつん張り棒「だれかあ・・・」の悲鳴のときは
「おっ取り刀」に変身した
- ・ 遠う回り 良かばあさんの おらすどう
「良かばあさん」は老春のパートナー「どう」は勤がりだ、
「化粧してお寺にや参つとらっさん」
- ・ 山紫水明 煙草喫うとも 気の引くる
吸い殻のポイ捨ては、一本たりともまかりならぬ
心に掟を

(山岳)

【川柳】

(数多く寄せられましたでしたがその中から掲載)

- ・ 早やすぎて しもやけするや ワラビかな
- ・ 鶯の 声たけなわや 春霞
- ・ ダンボール 家族の愛を つめこんで
- ・ 幸せは メタボ猫と 日向ぼこ

(カヅ子)

【短歌】

(数多く寄せられましたでしたがその中から掲載)

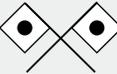
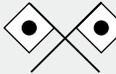
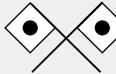
- ・ 桜舞ひ 桃花菜の花らんまんの
- ・ 義母葬送日 経し十五年
- ・ 栗の木の下で育くむ しいたけの
- ・ 五個もぐ音の はじめて楽し

(犬童 幸子)

掲載原稿は、毎月10日までに、役場総務企画課へ提出ください。

5 月の 行事 予定

(変更になる場合もあります)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 憲法記念日 	4 みどりの日 	5 こどもの日 	6	7 ●自衛隊父兄会総 会 (11:00 か せみ別館)
8	9	10 ○区長文書 ○広報お知らせ版 発行	11 ●窓口出張業務 (9:30 ~ 11:30 神多)	12 ●乳幼児健診 (13:15 ~ 渡多)	13 ●窓口出張業務 (9:30 ~ 11:30 渡多)	14
			●出発式 (7:15 ~)		平成 23 年春の全国交通安全運動	
15 ●球磨中学校 運動会	16	17	18 ●窓口出張業務 (9:30 ~ 11:30 神多)	19	20 ●窓口出張業務 (9:30 ~ 11:30 渡多)	21
平成 23 年春の全国交通安全運動						
22 ●急流と鍾乳洞の 里まつり (10:00 ~ 15:30 球泉洞一帯)	23	24	25 ●窓口出張業務 (9:30 ~ 11:30 神多) ○区長文書 ○広報くまむら発行 ●インターネット教室 (19:30 ~ 21:00 球磨中学校)	26 ●3歳6~9ヶ月 児健診 (13:15 ~ 渡多)	27 ●窓口出張業務 (9:30 ~ 11:30 渡多)	28
29	30	31				

※ [清流館] = 球磨村コミュニティセンター清流館、[渡多] = 渡多目的集会施設、[神多] = 神瀬多目的集会施設、[やまなみ] = 石の交流館「やまなみ」
[かわせみ] = 一勝地温泉かわせみ、[渡小] = 渡小学校、[一小] = 一勝地小学校、[球中] = 球磨中学校、[運公] = 総合運動公園

「球磨村診療所」から

～ゴールデンウィークの休診について～

4月29日(金祝) 休診
 4月30日(土) 午前中のみ診療
 5月1日(日)～5日(木祝) 休診
 5月6日(金) 通常どおり
 (問い合わせ先)
 球磨村診療所 ☎ 0966 - 32 - 0377

「球磨川歯科医院」から

～ゴールデンウィークの休診について～

4月29日(金祝) 休診
 4月30日(土) 午前中のみ診療
 5月1日(日) 休診
 5月2日(月) 通常どおり
 5月3日(火祝)～5日(木祝) 休診
 5月6日(金) 通常どおり

～5月より診療日を変更します～

月～水、金曜 9:00～13:00
 15:00～18:30
 土曜 9:00～13:00

☆休診日は毎月1日、日曜祝日、木曜となっています。

(問い合わせ先)
 球磨村診療所 ☎ 0966 - 32 - 1109

ゴールデンウィーク 休日当番歯科医について

ゴールデンウィーク中の平成23年5月5日(木) 10:00～16:00の1日のみですが、歯科の救急患者に対する医療機関の紹介を、球磨郡歯科医師会がいたします。

耐えられない急な歯の痛みがあった場合・・・

高野歯科医院(☎ 0966 - 38 - 2540 錦町一武 2111 番地)へ受診してください。

なお、診察につきましては、保険証、料金等は通常の診療と同じく必要です。



人口・世帯の動き			
	4月1日現在	前月比	前年同月比
世帯数(戸)	1,620	△2	△10
人口(人)	4,483	△17	△91
男(人)	2,129	△8	△39
女(人)	2,354	△9	△52

(この用紙は再生紙を使用しています。)

氏名	年齢	地区
川口 ミツ子	95才	大瀬
上田 京子	89才	神瀬二区
椎屋 ふみ	57才	茶屋
日隠 ミエ	89才	友尻
松舟 直太郎	一郎	松舟
久保田 有菜	慎二	島田
氏名	保護者	地区
松舟 直太郎	一郎	松舟
久保田 有菜	慎二	島田

お悔やみ申し上げます

お誕生おめでとう

戸籍の窓

3月届出分
(敬称略)

編集後記

新年度を迎え、前任者の異動で広報紙を担当することとなりました。これまでは、広報紙を見て読んで楽しむ側にいましたが、今度は、つくる側になったというところで、どうしたら読みやすく楽しめる広報紙がつくれるのか、焦りながら研究しているところです。(苦笑)

今は、いい文章を書くことも、いい写真を撮ることもできない私ですが、持ち前の笑顔と若さで、球磨村中を駆け回って広報紙づくりも自分自身も成長していけたらなと思っています。

これから、カメラを片手に、みなさんの前に、度々現れることになると思いますので、どうぞよろしく願います。

(祐)



梨の花